

## 多摩地区は元気が一杯！

多摩地区市町対抗囲碁団体戦実行委員会 委員長 成田 滋

30市町村からなる「多摩」の由来は、多摩川の上流部に山梨県の丹波川があることから、「多摩」となったとか。緑に包まれる自然環境、充実した教育環境、子育て世代や高齢者の憩いの場、都市の利便性という「いいとこ取り」ができるのが郷土の多摩です。多摩が碁で盛んであることが全国的に知られたのが「多摩地区市町対抗囲碁団体戦」の開催です。同大会事務局長で府中市囲碁連盟の会長であった故笹田俊輔氏の尽力でこの団体戦が開かれています。第1回大会は8市が参加して府中市で、第2回大会は16市により国分寺市で、第3回大会は26市町にふくれて調布市で開催されました。第3回大会は、八碁連会員を中心としたチームが優勝しました。

笹田俊輔氏の功績は、これまで東京都市町村自治調査会多摩交流センターから広域的市民ネットワーク活動支援で、3度にわたる助成金を獲得したこと、そしてなにもまして多摩地区にある囲碁連盟やクラブの交流や親睦を推進してきたことです。日本棋院との結びつきも強固にしてきたことなど、その働きは獅子奮迅ともいえるものでした。不幸にして令和3年9月に急逝され、多くの方々に悔やまれました。



高尾伸路九段と名取豊彦八段

コロナ禍のために第4回大会は延び延びとなっていました。今年9月24日の土曜日、府中市市民会館で開催されます。八王子チームは八碁連副会長の池田正三氏が大会実行委員と団長となって参加します。多摩交流センターからの助成も決定し、目下事務局長である調布囲碁連盟の遠藤和宏氏を中心に準備が進められています。私は凶らずも八碁連の推薦により、去る5月25日の大会実

行委員会において委員長として指名されました。この経緯は、大会委員長と事務局長が相次いでお亡くなりになられたためと伺っております。

大会実行委員会は、八碁連理事会に対して来年度の第 5 回大会を八王子市内で開催していただくよう依頼しています。多摩交流センターの助成に関する条件が、大会を多摩地区の各市町で開催することとしているためです。現在、理事会は会場となる市内の主要な施設を打診していると伺っています。盛大な大会を期待しましょう。